



ニューズレターの概要

このニューズレターは、平成27年度に開催された「全国生涯学習ネットワークフォーラム」の後継事業として、震災からの復興・再生や地域課題に取り組んでいる県内の関係者等の情報を共有し「学びをささえる、いかす、ひろげる、つなげる」ため、発行しています。

皆様方からも、多種多様な情報をぜひ当課までお寄せください。日常的な取り組みや様々な企画のもと実施されたイベント等、生涯学習に関する情報ならどんなものでも結構です。

今後も、互いに情報を共有し合い、継続的な取り組みが推進されるよう積極的につながっていきましょう。

eスポーツで繋がる輪 「喜多方市地域おこし協力隊」

喜多方市では、スポーツ振興や生涯学習推進の新たなツールとして、eスポーツを取り入れて、若男女、様々な世代間の交流を促進している。年に数回、レーシングゲームやパズルゲームのイベントを開催する他、交流大会を開催することで地域住民の方々の交流の場や機会の拡充を図っている。今回、喜多方市生涯学習課でスポーツ振興コーディネーターとしてeスポーツを推進している地域おこし協力隊の栗林さんに、eスポーツの魅力や波及効果について話を伺った。

eスポーツを通して地域の活性化を目指す！

喜多方市では、高齢者のデジタルに対する苦手意識の解消や子どもたちのスポーツの多様化に対応するために、近年注目されているeスポーツを推進している。eスポーツとは、エレクトロニック・スポーツの略で、コンピューターゲームを使った対戦をスポーツとして捉えたもので、日本では2000年代前半に普及し始めた競技である。

栗林さんは、2年程前からeスポーツの普及活動に精力的に取り組まれており、市内の公民館等で数多くの体験交流会を開催し、参加者の輪を広めている。地域の子どもから高齢者まで、一緒に楽しむことが出来るゲームを介して、年代という壁を越えて地域の人たちが気軽に交流できる場や機会を提供したいという信念のもと、活動している。

eスポーツの魅力とは

イベントや大会は、小学生から90代の高齢者まで幅広い世代の参加者に親しまれている。おじいさんとお孫さんとの参加、ちよつと興味があるご近所さん同士や友達同士等、誰もが気軽に参加することが出来るのが魅力である。「あなた上手だね」「ここはもつとこうした方がいいと思うよ」等、競技を通して参加者同士の会話が弾む。市が主催した大会で優勝経験がある中学生からは、「自分は勉強もスポーツも苦手だったが、eスポーツという場で自分が優勝して表彰されたのは貴重な経験だった。自分が活躍できる場があることを知り自信が持った。」といった嬉しい声も聞く。



コミュニティの潤滑油

「eスポーツIIゲーム」という認識は次第に薄れ、年齢を問わず挑戦してみたいという積極的な人が増え始めている。競技をきっかけに普段だと交わらないような人たち同士の交流が生まれる。さらに、頭を使い難しい問題に直面するからこそ、共に解決しようとする仲間意識も芽生える。栗林さんは、「参加者が興味を育み、ともに楽しみながら継続的に参加してくれることはとてもうれしい。」と話してくれた。

今後の展望

栗林さんは、中高生から40代への浸透が足りていないと感じ、誰もが簡単に挑戦できる良さや、世代間の交流によるメリット等、eスポーツの魅力発信の強化が重要と考えている。また、より活発な交流の場を生み出すとともに、市外からも人が集まるイベントや大会を開催する等、eスポーツで喜多方市をPRし、交流人口の拡大につなげていきたいと意気込んでいる。



本宮市国際交流課

「国際文化交流事業」

異国情緒あふれる英国庭園がある本宮市は、英国と友好関係にあり、市民を対象とした英国文化・語学学習講座を定期的に開催するなど、市をあげて国際理解や多文化共生に力を入れている。

本宮市の国際交流課では、令和4年度から、英国出身のエイミーさんが国際交流員として市民講座を担当し、英会話レッスンや市民参加型の英国文化等を学ぶフレンドシップカフェといった交流の場を通して国際文化交流を目的としたイベントを展開している。

今回、エイミーさんから、英会話が苦手な人から流暢に話せる人まで、ともに交流を通して楽しく学べる秘訣について話を伺った。



月に一回のお楽しみ！

「フレンドシップカフェ」の魅力

エイミーさんが企画するフレンドシップカフェは、令和5年1月にスタートし、毎月一回開催されている。主に英国を始めとする諸外国の文化を取り上げ、毎回趣向を凝らした企画で参加者を楽しませている。フレ

ンドシップカフェの一番の魅力は、英会話のスキルが不足している方でも、クッキーや紅茶を楽しみながらくつろいだ雰囲気の中で世代の違う方や外国人の方と様々な活動を通して交流ができること。また、季節感やトレンドを取り入れ、毎回企画を変えているため、興味・関心に応じて参加できるよさもある。エイミーさんは、こうした交流の場を通して、他国の文化に触れながらコミュニケーション能力を身につけることができ、英会話のスキル向上につながっていると話す。



フレンドシップカフェの様子

〜楽しいから始まる学び〜

フレンドシップカフェの参加者は、小学生から70代の方までと幅広く、市内の人に限定せず、小学生以上であれば誰でも参加できる。

英語料理をテーマに開催した際は、台所で見つけられる料理器具や食材についての英単語を学び、英語のレシピを読み解いてフルーツサラダを作り、参加者同士が英語で感想を伝え合った。参加者からは、「美味しいものを作って食べて、英語力も高めることができるなんて幸せだ。」といった声が聞かれたとのこと。

また、交流テーマも様々で、ある時は、国籍の違う参加者がカードゲーム・ボードゲームといった遊びを通して、英語や日本語で会話を楽しんだり、様々な国籍の英語指導助手の方々に参加していただき、「英語圏」の国々の文化の違いを学んだりすることもある。

エイミーさんは、「誰もが気軽に英語に触れる機会を提供し、少しでも楽しかったという気持ちを持つのも最も大切。英語スキルには個人差があるが、出来る限り様々な年代の方々に参加してもらえよう、いろんな人に寄り添えるイベントを企画したい。」と担当者としての思いを語ってくれた。中には、「英語は全く分からなかったがとても楽しい時間を過ごせた。親子で楽しく参加させてください。」などと感想を残す参加者もいたそう。



子ども向けフレンドシップカフェ

参加者目線が継続の秘訣！

フレンドシップカフェは、毎回定員を超える大盛況。多くの人に支持される秘訣について聞いたところ、

参加者のニーズに応じて、実際に挑戦してみたいことを取り入れて企画をしたり、参加者の実態を踏まえて、外国語版の資料や補助教材を作成したりするなど、参加する側の視点でイベントを展開していくことを意識していると話してくれた。

エイミーさんの願い

エイミーさんは、大学で日本語を学んだことをきっかけに、日本の皆さんに英国文化の良さに触れてもらいたいという想いで国際交流員を目指した。

本宮市では、国際交流事業の一環で中学生が英国に訪問する機会を設けているが、訪問団の中には、エイミーさんとの出会いがきっかけで英国に関心を持ち、実際にイギリス文化に触れてみたいという思いで志願した生徒もいるという。

デジタル技術の進展で誰もが簡単に多文化を学ぶ機会は得られるが、リアルな空間で英語に触れ、コミュニケーションを楽しむ経験をしてほしいので、『これから自分でも参加できる』と目指している講座を目指していると話してくれた。

